

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成26年7月31日(2014.7.31)

【公開番号】特開2012-141744(P2012-141744A)

【公開日】平成24年7月26日(2012.7.26)

【年通号数】公開・登録公報2012-029

【出願番号】特願2010-293478(P2010-293478)

【国際特許分類】

G 0 6 F 21/62 (2013.01)

G 0 6 F 12/00 (2006.01)

G 0 6 F 21/60 (2013.01)

【F I】

G 0 6 F 12/14 5 2 0 A

G 0 6 F 12/00 5 3 7 A

G 0 6 F 12/14 5 2 0 F

G 0 6 F 12/14 5 6 0 B

【手続補正書】

【提出日】平成26年6月17日(2014.6.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

そこで、本願発明では、セキュリティが付与されたファイルの保存先が変更となる場合に、当該ファイルに付与されたセキュリティを考慮した文書管理をすることが可能な文書管理装置を提供することを目的とする。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

フォルダに文書を保存することが可能な文書管理装置であって、保存される文書に対して付与する操作権限および前記文書の保存先が前記フォルダから変更となる場合に前記付与された操作権限を維持するかどうかの設定を含むセキュリティ情報を前記フォルダに対して設定可能なセキュリティ設定手段と、前記フォルダに文書が保存されたかどうかを監視する監視手段と、前記監視手段により文書が保存されたと判定された場合、前記保存される文書に前記セキュリティ情報を付与するセキュリティ付与手段とを有する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

本発明によれば、セキュリティが付与されたファイルの保存先が変更となる場合に、当該ファイルに付与されたセキュリティを考慮した文書管理をすることが可能な文書管理装置を提供することができる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

フォルダに文書を保存することが可能な文書管理装置であって、
保存される文書に対して付与する操作権限および前記文書の保存先が前記フォルダから変更となる場合に前記付与された操作権限を維持するかどうかの設定を含むセキュリティ情報を前記フォルダに対して設定可能なセキュリティ設定手段と、

前記フォルダに文書が保存されたかどうかを監視する監視手段と、

前記監視手段により文書が保存されたと判定された場合、前記保存される文書に前記セキュリティ情報を付与するセキュリティ付与手段と、

を有することを特徴とする文書管理装置。

【請求項 2】

前記セキュリティ付与手段は、前記文書に対するセキュリティ設定が、前記セキュリティ設定を維持しないように設定されていた場合、前記文書の保存先が前記フォルダから変更となる文書に対して前記付与されたセキュリティ情報を削除し、一方、前記セキュリティ設定を維持するように設定されていた場合、前記文書の保存先が前記フォルダから変更となる文書に対して付与されたセキュリティ情報を削除しないことを特徴とする請求項 1 記載の文書管理装置。

【請求項 3】

前記セキュリティ付与手段は、前記文書に対するセキュリティ設定が、前記セキュリティ設定を維持するように設定されていた場合、前記監視手段により文書が保存されたと判定された場合であっても、前記セキュリティ設定手段による当該文書に対してのセキュリティ情報の付与は行わないことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の文書管理装置。

【請求項 4】

前記セキュリティ情報には、文書に対する操作に関する項目が含まれており、当該文書に対する操作が出来る期間の設定が可能であって、

前記操作が出来る期間内でない場合には、当該文書に対する操作を不許可とすることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の文書管理装置。

【請求項 5】

前記文書の保存先が前記フォルダから変更となる場合とは、前記保存された文書の複製または移動であることを特徴とする請求項 1 記載の文書管理装置。

【請求項 6】

フォルダに文書を保存することが可能で、当該保存される文書に対して付与する操作権限および前記文書の保存先が前記フォルダから変更となる場合に前記付与された操作権限を維持するかどうかの設定を含むセキュリティ情報を前記フォルダに対して設定可能なセキュリティ設定手段を有する文書管理装置の制御方法であって、

前記フォルダに文書が保存されたかどうかを監視する監視ステップと、

前記監視ステップにより文書が保存されたと判定された場合、前記保存される文書に前記セキュリティ情報を付与するセキュリティ付与ステップと、

を有することを特徴とする文書管理装置の制御方法。

【請求項 7】

フォルダに文書を保存することが可能で、当該保存される文書に対して付与する操作権限および前記文書の保存先が前記フォルダから変更となる場合に前記付与された操作権限を維持するかどうかの設定を含むセキュリティ情報を前記フォルダに対して設定可能なセキュリティ設定手段を有する文書管理装置を、

前記フォルダに文書が保存されたかどうかを監視する監視手段と、

前記監視手段により文書が保存されたと判定された場合、前記保存される文書に前記セキュリティ情報を付与するセキュリティ付与手段と、
を有することを特徴とする文書管理装置として機能させるためのプログラム。